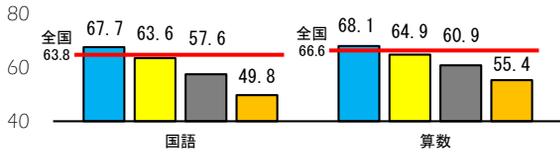
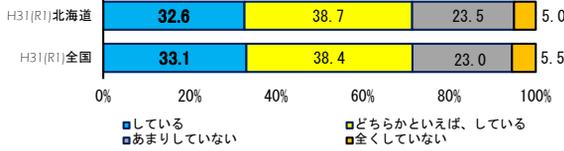


(4)望ましい学習習慣の確立

【分析】

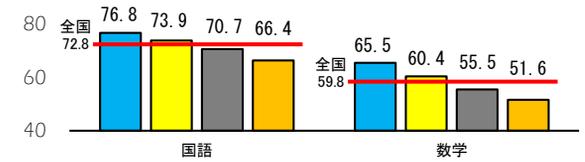
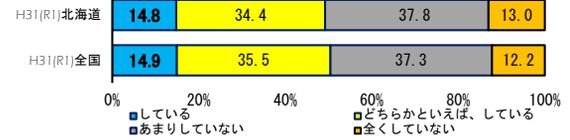
「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」（児童生徒質問紙）

小学校



〔児童生徒質問紙と学力のクロス分析〕

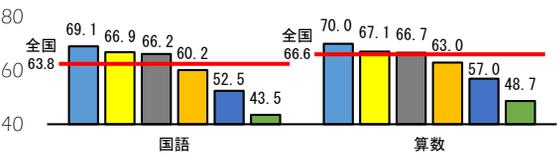
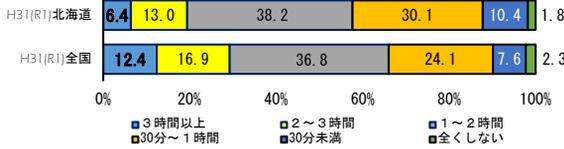
中学校



〔児童生徒質問紙と学力のクロス分析〕

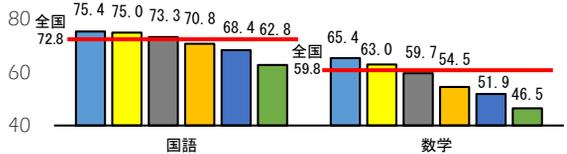
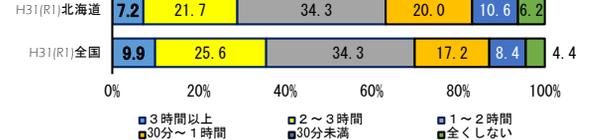
「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）」（児童生徒質問紙）

小学校



〔児童生徒質問紙と学力のクロス分析〕

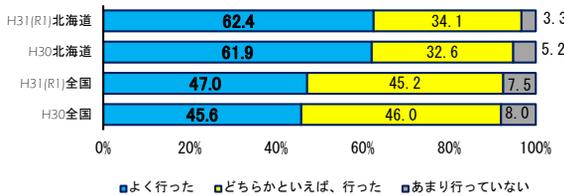
中学校



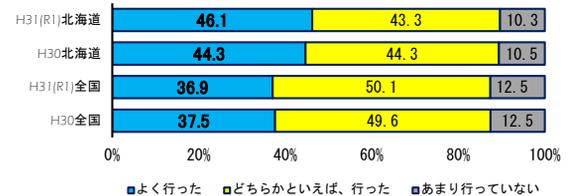
〔児童生徒質問紙と学力のクロス分析〕

「家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか」（学校質問紙）

小学校



中学校



- 家庭での学習習慣に関する項目について、肯定的に回答した児童生徒の方が、平均正答率が高い状況が見られる。また、家庭学習の課題の与え方の共通理解について、「よく行った」と回答した学校の割合が昨年度と比べて増加するなど、取組が推進されている学校が多くなってきている状況が見られる。
- 学校の授業時間以外の学習時間の項目について、「1日当たり1時間以上勉強している」と回答した児童生徒の割合が全国を下回っている状況が見られるなど、学習習慣の確立に課題がある。

【改善の方向性】

◆ 子どもの学習習慣の確立に向けて、学校と家庭が連携して取組を進めることが大切です。

特に、各学校においては、教職員の共通理解の下、子どもの発達の段階に応じた家庭での学習計画の立て方や学習内容を示すなど、取組を充実させることが大切です。



学校と家庭が協働した子どもの学習習慣の定着

ポイント

学校と家庭の共通理解を図り、目的や見通しを明確にして取組を進めています。

1 学力チャレンジカレンダーの作成

- 子ども、保護者、教職員が見通しをもって取り組めるよう、チャレンジテストや漢字・計算コンテストなどの年間の計画を校内に掲示

学力チャレンジカレンダー



2 家庭学習記録シートの活用

- 読解力の育成に向けて、A3の用紙に、国語の文章問題と算数の問題を印刷し、全校で宿題の内容を統一
- 家庭学習記録シートを活用し、家庭での学習時間を把握し、指導に活用

2月10日～12月20日

家庭学習記録シート

1日の目標学習時間：学年×10分以上＝50分以上！

月/日	曜日	国語	算数	漢字	計算	その他	1日合計
12/10	月	21分	25分	0分	0分	0分	56分
12/11	火	23分	0分	0分	27分	0分	50分
12/12	水	22分	15分	15分	0分	0分	52分
12/13	木	21分	0分	31分	0分	0分	52分

学習時間の様子を見て、学級担任が声かけしています。

3 家庭との共通理解

- 年度当初に、生活面、学習面で共通して指導する事項を各家庭に周知
- 学校便りに各学年の取組の様子を掲載し、子どもの意欲を向上

全家庭に配付しています。

- 学校と家庭がそれぞれで取り組むことを明確にしたことにより、家庭の協力の下、効果的に取組を進めることができた。
- 家庭学習に目標や見通しをもって、取り組む子どもが増えてきている。

子ども自身による学習習慣の振り返り

ポイント

学校と家庭の連携の下、子どもが自分の生活を振り返りながら取組を進められるようにしています。

1 「家庭学習の手引」や「生活リズムチェックシート」の活用

- 「毎日宿題を出す」「自主学習の推進を図る」ことを全校で共通化
- 宿題の習慣化や自己管理能力の育成を図るため、「家庭学習の手引」を配付
- 家庭と連携し、「生活リズムチェックシート」を活用した生活習慣改善の取組を推進

全家庭に配付しています。

【生活リズムチェックシート】

日	曜日	おきる時刻		朝ごはん		ねる時刻		家庭学習の時間						ノーマディア		
		まもれた	まもれなかった	食べた	食べなかった	まもれた	まもれなかった	1時間以上	約50分間	約40分間	約30分間	約20分間	約10分間	できなかった	できなかった	
6月4日	日	◎	×	◎	×	◎	×	○	50	40	30	20	10	0	◎	×
6月5日	月	◎	×	◎	×	◎	×	○	50	40	30	20	10	0	◎	×
6月6日	火	◎	×	◎	×	◎	×	○	50	40	30	20	10	0	◎	×
6月7日	水	◎	×	◎	×	◎	×	○	50	40	30	20	10	0	◎	×

生活の様子を見て、学級担任が声かけしています。

【家庭学習の手引】

- 4年生で身に付けたい
 - 新出漢字の読み書きができる。
 - ローマ字の読み書きができる。
 - 指示語・接続詞の意味が分かる。
 - 国語辞典や漢字辞典を使って言葉を探られる。
 - わり算の筆算ができる。
 - 小数のたし算やひき算、小数×整数、小数÷整数ができる。
 - コンパや分倍倍をしく使うことができる。
 - 地名が読べられ、47都道府県を覚えられる。
- 家庭学習にしょうちょうするために(お子さんとお読みなさい)
 - できるだけ毎日、同じ時間帯にやります。
 - テレビ・ゲームは、学習が終わってからにしましょう。
 - 子どもは休まず、学習しましょう。
 - 4つクエスチョンシートを整理して取り組みましょう。
 - はじめに、意図をして、次に3からえらんでやりましょう。
 - 明日の学校の用意をしましょう。

家庭学習時間の目安

50分以上

メディアにふれる時間の目安は1日あたり2時間未満に抑えています。



3 こんがくをしてみよう

- | | | |
|--|---|---|
| 《国語》
○音読・写写・漢字練習
○意味・語数・部首調べ
○漢字のめり立ち調べ
○ことわざ調べ
○日記
○読書 | 《算数》
○教科書問題
○ドリル、プリント
○自作問題(計算、文章)
○分度器、三角定規で作図
○表やグラフをかく | 《理科》
○実験、観察をまとめる
○図鑑で調べる
○植物や動物
○太陽と月、星座
○天気、気温調べ |
|--|---|---|

2 「生活リズムチェックシート」の分析

- 「生活リズムチェックシート」の結果を学年ごとに集計・分析し、成果と課題、取組等をホームページや学校便りで保護者や地域住民に周知

- 「生活リズムチェックシート」等を活用したことにより、学校と家庭が目的を共有しながら取組を進めることができた。
- 子どもたちに、自ら生活を見直そうとする姿が見られるようになってきている。